月1回の自殺防止の見回り、今年で10年目。

犬吠埼合同パトロール

問 健康づくり課 ☎（24）8070

薄暗くなってきた犬吠埼灯台周辺から君ケ浜方面を歩いてパトロール（18時から18時30分まで）

《メンバー》

銚子警察署、犬吠埼駐在所、犬吠埼町内会、犬吠埼温泉協議会、銚子市

きっかけは10年前

犬吠埼で母子の飛び降りという、とても悲しいできごとがあった。犬吠埼温泉協議会会長を務めている梅津さんは「観光名所の銚子（犬吠埼）を自殺のスポットにしてはならない」と立ちあがった。

最初は梅津さん、犬吠埼温泉協議会、犬吠埼駐在所、市職員と少ない人数で活動をスタート。徐々に協力者が増え、犬吠埼の町内会長や銚子警察署なども加わり、毎月10人程度の人数で見回りを行っている。観光客や地元の人にも積極的に声をかけ啓発活動を進める。

外灯や柵の設置、近隣施設に見回りのお願いをして回った成果もあり、活動を始めてから自殺の件数は減っている。

これからも歩いてゆく

「減っているだけで、無くなっていない。観光名所を自殺の名所にさせないため、さまざまな団体と協力しあいながら今後も活動を続けていきたい」と梅津さんは語り、歩き続ける。

ひとりで悩んでいませんか？

9月を「自殺対策強化月間」として千葉県では心の健康と自殺予防の普及啓発をしています。銚子市では、対策の一つとして、年間を通してこころの健康相談を実施しています。

こころの健康相談（臨床心理士）

要予約。健康づくり課へご連絡ください

問 健康づくり課 ☎（24）8070

厚生労働省 電話相談窓口など

まもろうよ こころ